

平成27年度1回目

世界遺産登録記念

第9回「子ども大牟田検定」(上級編)

学校 年 組 名前

昨年度から子ども大牟田検定(上級編)が始まりました。少し難しい問題ですが、問題をよく読んで、全問正解(ゴールド)目指して、がんばってください

10問全問正解で、「子ども大牟田検定ゴールド」
9～6問正解で、「子ども大牟田検定シルバー」
5～0問正解で、「子ども大牟田検定ブロンズ」
の称号を授与します。



10問中

正解

第7回目 ゴールド・シルバー・ブロンズ・受けていない

第8回目 ゴールド・シルバー・ブロンズ・受けていない

I 正しいと思った番号を に書き入れましょう。

問1	世界遺産となった「三池港」は、大型船が入港できるように工夫されています。三井三池炭鉱社事務長になり、港づくりに力を尽くした人はだれでしょう。 ①團琢磨 ②團伊玖磨 ③團勝磨	答え
問2	「三池炭鉱専用鉄道敷跡」が世界遺産となりましたが、始めに作られたこの鉄道の区間は、次のうち、どれでしょう。 ①宮原坑～万田坑(荒尾) ②宮原坑～三池港 ③大浦坑～大牟田川河口	答え
問3	世界遺産に登録された「宮原坑」は三池炭鉱の主力坑の一つですが、いつ頃から石炭を掘り始めたでしょう。 ①明治時代 ②大正時代 ③昭和時代	答え
問4	石炭関連施設で、高さ31.2メートルの煙突があり、昔、石炭を掘り出していたところの名前は何でしょう。 ①宮浦坑 ②宮原坑 ③七浦坑	答え

問5	「宮原坑」が世界遺産となりましたが、「宮原坑」について正しく説明しているのはどれでしょう。 ①アメリカ製の排水ポンプを使用した ②第一立坑と第二立坑の二つの坑口があった ③立坑の深さは約200mもあった	答え
問6	世界遺産となった「宮原坑」には、現存する日本最古の鋼のやぐらがありますが、その高さは、次のうち、どれでしょう。 ①12メートル ②22メートル ③32メートル	答え

II 正しいと思ったら○,まちがいだと思ったら×を、 に書きましょう。

問7	世界遺産の「三池炭鉱専用鉄道敷跡」は、採炭していた頃、三池炭鉱専用鉄道として石炭や炭鉱で働く人々などを運びましたが、閉山後、線路や枕木は取り除かれ、現在は使用されていません。	答え
問8	世界遺産に登録された「三池港」の近くにある旧長崎税関三池税関支署は、輸出入の手続きのため現在も使用されています。	答え

III ()の中に、答えを記入しましょう。

問9	地下で石炭を掘るためには、空気の入れ換えをしなければなりません。そのため、有明海に()と三池島という人工島がつけられました。	(ヒント:漢字2文字) 答え ()
問10	「三池港」は世界遺産となり、貿易の拠点としてますます期待されています。この港には、長崎県の()市と結ぶ高速船もあります。その地名は何でしょう。	(ヒント:漢字2文字) 答え ()市